

## カーバムナトリウム塩液剤の簡易少量散布はコナダニ防除に有効か

○本田善之・岩本哲弥・溝部信二  
山口県農林総合技術センター

近年、中山間地域における雨除けハウレンソウ産地では、ハウレンソウケナガコナダニ（以下コナダニ）が難防除害虫となっている。コナダニは、土壌表面に生える藻類を増殖源とすること、播種前の土壌に発生した藻類を鋤込むと多発生するリスクが高いことが明らかとなっている。施設内におけるカーバムナトリウム塩液剤（以下カーバム剤）の土壌表面散布は播種前の藻類を枯死させ、かつコナダニの密度も低下させることから、コナダニ防除に有効である。既登録されているビニール被覆や土壌耕耘を行わない省力使用法でも効果が高いことがわかっている。しかし、投入量が 60L/10a と多く、コストが高いことが課題になっている。そこで、カーバム剤を少量散布した場合のコナダニ防除効果を確認した。

2017 年春期に周南市の現地ハウレンソウハウスにおいて、カーバム剤 40L/10a 区、カーバム剤 10L/10a 区、無処理区を設け比較試験を行った。試験区は 1 区 1 ハウス（5×30m、150 m<sup>2</sup>）、1 区 4 か所調査とした。播種は無処理が 3 月 9 日、カーバム 10L 区が 3 月 15 日、カーバム 40L 区が 3 月 22 日、品種はトラッド 7、栽培は農家慣行とした。カーバム剤区は前作終了後の未整地状態で、所定量を土壌表面に散布し、サイドビニルを 3 日間閉めた後、4 日間開放してガス抜きを行い、耕耘播種した。各調査地点で 1 週間ごとに 80mL の土壌を採取しツルグレンにかけ、コナダニ密度を調査した。4 葉期から 1 週間ごとに被害度を調査し、8 葉期には各調査地点からハウレンソウ 10 株を採取し、新芽を実体顕微鏡で観察して、寄生コナダニ数を調べた。

その結果、カーバム剤 10L 区は 6 葉期以降コナダニ密度が増加したものの、被害度は無処理区（26.2）に比べ 0.4 と低く抑えることができた。40L/10a と 10L/10a の差は認められなかった。今回、密度が増加したのは散布前の土壌が乾燥していたため、カーバム剤の水による分解、広がりが不十分だったためと考えられた。今後は、灌水して適度な水分を保って散布することとしたい。また、カスケード乳剤 2 回散布と同等のコストであるカーバム 5L/10a 剤区の防除効果も確認したい。

Control effect of *Tyrophagus similis* Volgin (Acari: Acaridae) by simple small amount spraying of carbar sodium salt solution?

Yoshiyuki Honda・Tetsuhiro Iwamoto・Shinji Mizobe

Yamaguchi Prefectural Agriculture & Forestry General Technology Center